

## 京王電鉄と多摩市、多摩ニュータウンなど、地域の持続的発展に向け連携協定を締結

京王電鉄 <http://www.keio.co.jp>

**大**規模住宅団地における人口減少・高齢化対策は全国的に大きな課題となっているが、多摩ニュータウンをエリアにもつ東京都多摩市と沿線開発や地域の発展を民間サイドからリードしてきた京王電鉄（東京都多摩市）は、8月28日「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結した。

同協定は首都圏のベッドタウンとして発展してきた多摩ニュータウンおよび地域全体の「持続的な発展」に向けて、今後さまざまな対策を講じるもの。基本理念は「幸せな暮らしの実現」「住んでもらえるまち・選んでもらえるまちの追求」「「民生連携」の挑戦」などとなっている。具体的には、今年11月から多摩市内の各所に専用トラックを活用した食料品・日用品雑貨商品などの移動販売を開始する。移動販売にない商品についても注文に応じて次の販売日に届けるサービスも実施する。

同協定の対象事項は、高齢者および子育て世代を対象とした生活支援サービス、コミュニティ形成および住宅地の再生に関する事項、地域資源の活用、環境に配慮したまちづくり、暮らしの安全・安心の確保、災害対策などとなっており、地域活性化につなげる。

## ミニメイド・サービス、FC店舗でも付き添いなど「お気がるメイド」拡充へ

ミニメイド・サービス <http://www.minimaid.co.jp>



サービス提供の様子

**家**事代行サービスは1983年に創業以来、13年9月現在、全国に127店舗（直営3店舗、FC124店舗）を展開するミニメイド・サービス（東京都渋谷区）は、今年12月から利用者からの要望が高まっている話し相手と家事手伝いを合わせたサービス「お気がるメイド」を傘下のFC店舗にも拡大することを明らかにした。

同社の主要な顧客層は、65歳以上の高齢者が5割以上を占め、かつて20年以上にわたって同社のサービスを利用している顧客が多いことから、今年2月、直営店舗に「お気がるメイド」を創設、これが好評だったため、FC店舗にも拡大するもの。

同社のサービス提供業務は、派遣するスタッフ数や社内資格、提供時間などにより5種類に分類されるが、お気がるメイドは①リリーダを中心とした3人または2人のチームが定期的に利用者宅を訪問する「ミニメイドサービス」、②家事のスペシャリストが掃除を中心とした家事全般を定期的に行なう「フレミアサービス」の2業態の店舗で提供される。

お気がるメイドのサービス内容は、65歳以上の顧客を対象に話し相手（自宅での食事、趣味等と一緒に楽しむ、買物・観劇・通院などに付き添う等）、家事手伝い（調理、洗濯、整理、掃除等）を行なう。料金は①スポット（1回1時間）3780円（税込）、②定期（月2回2時間）6930円（同）、従来から定期的利用者が顧客の大半を占めており、これらの顧客から「生活サポートを重視した、低価格で頻りに利用できるサービスが欲しい」といった要望に応えたい。

当面、FC加盟店募集セミナーを行なうことで16年度までに60店舗程度まで拡大する。

## アズパートナーズ、セントラルスポーツと業務提携 入居者にリハビリサービス提供

アズパートナーズ <http://www.as-partners.co.jp>

**首**都圏を中心に「アズハイム」ブランドで介護付有料老人ホーム、デイサービス、ショートステイを展開するアズパートナーズ（東京都千代田区）は、さる10月1日、スポーツクラブ事業大手セントラルスポーツ（東京都中央区）と業務提携協定を締結した。

アズパートナーズは、入居者に対する介護サービスの3本の柱として医療対応、認知症対応、リハビリ対応を強化しているが、今回の提携によって、同社のモットーである「質の高いサービス提供」を一段と強化する狙いがある。セントラルスポーツは、全国約160カ所でスポーツクラブを展開、健康づくりのノウハウを活かした介護保険の「新予防給付」や「地域支援事業」などを行なう一方、高齢者施設等に「健康イ体操」のインストラクターを派遣するなど、介護予防、運動指導のサービスアイテムを豊富に整備していることから、今回の業務提携となった。

業務提携の内容は、①アズハイムの全ホームで介護予防およびレクリエーションを目的にセントラルスポーツによる

アズハイムオリジナルの健康イ体操「チェアアクティブ」を開催、②セントラルスポーツとタイアップした「CGTプログラム」を導入、下肢を中心とした筋力の維持向上を目的とした筋力トレーニングマシンを用いた機能訓練や効果測定を行なう、などで入居者の健康維持・増進に貢献するもの。



健康イ体操で筋力トレーニング

## サービス

## 介護／福祉

**厚**生労働省は、このほど通所介護（デイサービス）事業の審査基準を強化する方向で2015年度の第6期介護保険制度改正に臨む方針を固めた。

とくに小規模型通所介護（延利用者数300人以下/月、定員10人以下）事業所は、介護報酬単価が高く、初期投資も少なく済むため新規参入事業者が急増しているのが現状だ。小規模デイの事業所数は、06年4月末現在7,075事業所であったが、13年3月末現在では、1万7,963事業所（+153%）までふえ、業界の一部にはサービスの品質やコンプライアンスなどで問題点を指摘されるケースも出ている。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000008f07.html>

## 小規模デイサービスは市町村の指定・監督に厚労省、介護保険制度改正へ

厚生労働省は社会保障審議会介護保険部会の、「小規模デイは少人数で生活圏域に密着したサービスであることから、地域との連携や運営の透明性を確保するため、市町村が指定・監督する地域密着型サービスに位置づけてはどうか」といった論点などを検討していたものだ。現在、小規模型デイは都道府県の書類審査であるが、市町村の専門組織による審査へと、介護保険制度を見直す方向だ。

小規模デイを地域密着型サービスとして市町村が直接、指定・監督にあたることで安易な参入に歯止めをかけ、地域のニーズに沿った良質な小規模デイの普及を目指す。

**売**上げの93%を精神科に特化した訪問看護事業が占め、賃貸事業（退院する予定の患者のためのサプリス方式等による住居確保）が5%、残る2%が精神科高齢者向け訪問介護事業というユニークな企業、株式会社N・フィールド（大阪府北区）は、さる8月29日、東京証券取引所マザーズに株式上場した。上場によるブランドイメージアップと資金調達の円滑化を狙っている。大株主は野口和雄代表取締役社長、JAFCOなどである。

同社は2003年2月に設立され、同年3月訪問看護ステーション「デュン（Dune）」を大阪市内に開設したのを皮切りに札幌、福岡、東京などに開設。13年6月末現在、訪問看護ステーションを全国に35拠点展開する。訪問介護は、訪問介護ステーション「Dune」を大阪市内に1拠点開設している。賃貸事業は「医療連携推進部」として、全国に3拠点（東京、大阪、福岡）を開発済みだ。同社の特異な事業内容の背景には、①医療費を抑制する入院日数削減・退院促進による在宅医療へのサポート体制強化、②精神科医療は04年に厚生労働省が「精神保健福祉政策の改革ビジョン」で15年までに精神病床数7万床削減目標などがあり、認知症高齢者や精神疾患などによる在宅看護ニーズが高まっていること。この流れに沿って、同社の売上高は08年12月期の2億6,500万円（訪問看護拠点数）から、12年12月期には11億2,900万円（同32）へと急成長。今期中に訪問看護ステーションを4拠点、来期も積極的に開設する計画で事業基盤の強化を図る。

## 精神科に特化した訪問看護 N・フィールドが東証マザーズに株式上場

N・フィールド <http://www.nfield.co.jp/>

## 医療

## 長谷川興産、健保・介護保険併用可能な訪問医療マッサージサービスをFC展開

**長**谷川ホールディングス（東京都豊島区）傘下の長谷川興産（同）は、9月16日、訪問医療マッサージサービス「KEIROW（ケイロウ）」のFC展開を開始した。

同サービスは、医師による指示に基づいて、身体の動きや血行をより促進するリハビリマッサージサービスを利用者の自宅や施設を訪問して定期的に実施するもの。効果としては、①血液やリンパの循環促進や筋肉の緊張をほぐすことによる「新陳代謝の改善」「寝たきりによる褥瘡（床ずれ）予防」「痛みやしびれの緩和」「身体機能の維持・改善」などのマッサージ効果、②関節運動療法によって関節を自動的・他動的に動かすことによる「関節可動域の維持・改善」「ADL（日常生活動作）の維持・改善」などのリハビリ効果、③定期的に訪問するスタッフ（あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師の国家資格者）との会話やふれあいによるコミュニケーション効果、④アロマと音楽によるリラックス効果などが期待できる。

対象者は、独居高齢者や寝たきりを含む要介護高齢者、歩行困難などで通院できない高齢者など幅広い。料金は施術内

容により異なるが、主治医による「同意書」の発行があれば健康保険が適用され、本人1～3割負担が適用される。介護保険との併用も可能だ。

同社は各種の生活支援サービスを提供しているが、医療マッサージサービスは超高齢社会のニーズを先取りするものとして将来性は大きく、FC展開することとなったものだ。



リハビリにも効果が期待される訪問医療マッサージ